



スマートフォンでも
CHECK!!

南国タウン情報

タウン情報に関するご意見・ご要望は南国新聞ウェブサイト (www.nangoku.com.my) のお問い合わせフォームからどうぞ

デザインを担当したのはビジビジの若きデザイナーであるマティン、エレイン、アールディの3名。コラボ発足当初、ビジビジから中島氏に対して、「われわれには着物に対する知識がない。誤った使い方は避けたいため、日本人デザイナー、または着物に関するアドバイザーを紹介してもらいたい」と要望が入ります。それに対し中島氏は、「ビジビジの実力を信じています。先入観のないみなさんにしかできないデザインを生み出してほしい」。その回答に、メンバーは身震いするほど興奮し、「絶対に良いものを、ナカジマを喜ばせる品を作ろう!」と一致団結したといいます。



(右から) 折笠弘維大使、アブ・ペカー・ユソフ理事、ノラ氏 (ビジビジファッション部門責任者)、中島一乃氏。中駒織物展示の見事な打掛を堪能します

え続け、最終日には会場は来場者であふれ、商品は、ほぼ売完となりました。

大好評の各種ワークショップ

様々なワークショップも催された3日間。「日本語で名前を書こう!」、折り紙教室、切り絵教室を担当したのは、トレンガヌで日本語教師を務めるアドラン氏。筆、墨を見事に使いこなし、センス溢れる切り絵を披露するなど、日本人も仰天のタレントぶり。ビジビジ製作の自転車発電機による「フルーツジュースを作ろう!」コーナーは、訪れる誰もが挑戦。「自分のエネルギーをアップサイクルして作るジュースはうまい!」と大好評を博しました。極め付けは中島氏による着物着付け体験&お茶体験。長蛇の列による待ち時間にもかかわらず、着付けを終えると誰もが満面の笑み。「こんなに気持ちが華やかになるのね~!」、「こんなにハッピーになるなんて」との喜びの声が次々と聞かれました。



フランス人男性とドイツ人女性も着付け体験。まるでモデルのような2人は注目を集めます♪

マレーシアにおいては新たな雇用が生まれ、日本においては伝統職人が再び輝ける時代を

さて、本コラボプロジェクトに対する今後の抱負を問われた中島氏は次のように語ります。「本プロジェクトにより、マレーシアにおいて新たな雇用が生まれること。また、着物に対する評価がマレーシアで高まることで、日本で再び着物に対する価値が高まり、技術を誇る伝統職人が再び腕を振るえる時代が来ること、それが願いです」。



tea pressスタッフのシヤシヤさんにより、練習ワークショップも開催されました!



ビジビジデザイナーの(左から)マティン、エレイン、アールディ。皆、デザイナーとして確かなバックグラウンドを有しています



高技術を有するビジビジの職人さん。丹精込めてバック・ドレスを縫製!

多くの関心を集めたコラボレーション

本コラボレーションは、多数の地元メディアで大々的に取り上げられ、「日本の由緒ある織物会社が、マレーシアの社会企業とタッグを組む」と、非常に好意的な見出しで本プロジェクトが紹介されます。メディアやSNSの効果は大きく、オープニングセレモニー後、徐々に来場者が増

マレーシアの社会問題解決に真正面から取り組むビジビジと、日本の美しい伝統を蘇らせるべく凛と立つ中駒織物のコラボ作品は、まさにエシカル・ファッション。今後の世界の潮流を示唆する、両者の船出となりました。(K・K)



「自分のエネルギーをアップサイクルしてジュースを作ろう!」コーナーは大人気



DIYワークショップで「この棚、自分で作ったよ!」



アドラン先生(右)による折り紙・切り絵ワークショップも大好評



パティック絵付けワークショップに挑戦する女の子



中島さんにけん玉を教わってもらうお子さんも♪

イベント情報 詳細をお確かめの上お出かけ下さい

ジャパン・フードフェア、間もなく開催!

現在、当地で大ブームの日本食。食材への関心も高まっています!「毎朝、健康のためにソバを食べています。ときどき茶ソバもいただいています」と、マレーシア人のパフォーマーの方がテレビインタビューに答えているのを拝見し、「なるほど~」。

さて、この度、優れた日本食材を取り扱うイセタン・ザ・ジャパンストアで、ジャパン・フードフェアが開催されます!マレーシアの人気料理番組も本フードフェアに注目し、会期中にはスペシャルトークショーも予定されています。各地方の食材、今が旬の品々もお目見えする本フェアをお見逃しなく♪(K・K)



期間: 11月10日~19日
場所: イセタン・ザ・ジャパンストア